

■ タイトル

鉄筋束を斜め吊りした際に 端部が滑り被災者の足に当り負傷

■ 基本情報〔 土木・**建築** 〕

災害発生日	2012年 10月			
災害属性	被災程度	人災	被災者属性	-
被災者	職種	-	年齢	- 歳
	経験年数	- 年	就労日数	- 日
災害情報	型別	激突され	起因別	鉄筋束
機械属性	機種	移動式クレーン	能力	- t
	仕様	-	その他	-

■ 事故・災害発生状況

鉄筋束を斜め吊りし、端太角の引っ掛かりが外れ、荷が動き自分の足に当たった。

■ 発生要因（WG想定含む）

- ① 玉掛けの際に横方向に吊位置がずれていた為、巻上と共に端部が横移動していき端太角から外れ被災者にあたった
- ② 単独での作業で玉掛け部に集中していたため、端部の動きに気付かず 退避が遅れた。
- ③ 介錯ロープを使用していなかった為、荷との距離が無く鉄筋束が端太角から外れた際に逃げきれなかった。

■ 発生状況図



■ 再発防止対策（WG想定含む）

- ① 地切りの前にクレーンのワイヤーを2方向から見て垂直性を確認する。
- ② 軽微な作業でも単独での作業は禁止とし、互いの安全を確認しながら作業を行わせる。
- ③ 移動距離、高さに関わりなく介錯ロープの使用を義務付け安全作業を徹底させる。